



# Summer Letter vol.04

発行 神戸みなとライオンズクラブ (第50期)

2018年9月6日  
第1196回例会

発行責任者 神戸みなとライオンズクラブ  
会長 団 英男

9月4日 大阪のリーガロイヤルホテルで国際会長Lグドラン・イングバドターの公式訪問がありました。国際協会初の女性会長であり、アイスランドという小さな島国から誕生したチャームिंगな国際会長です。ご主人も元国際理事として活躍されたライオンズ・ファミリーで今年一年の活躍を大いに期待するところです。

今期、開催されるOSEAL FORUM (東洋東南アジアライオンズフォーラム) という発表がありました。その理由は、一番重要な懸案事項として、中国政府から参加者に対してビザを取得しなければ参加できない等という安全面の保証ができないということです。ただ不安を持ちながらの参加を見合わせた堀口ガバナーの英断には拍手を送りたいと思いました。

今月と来月生まれの方が合計で10名いらっしゃいます。2か月で会員のなんと4割の会員が生まれたことになり。これってちょっとすごくないですか！

今日、献血アクティビティに参加していただいたみなさん、ありがとうございました。

では、今月もよろしくお祈りします。

9月1日には、支援第二弾として真備町に再び訪れました。前回よりは町の様子も落ち着き始めたように感じました。今回参加されたみなさん、大変お疲れさまでした。



第1196回例会会長挨拶  
会長 団 英男



歴代国際会長から祝福を受けて国際会長に就任したグドラン・イングバドター国際会長



国際協会初の女性国際会長  
Lグドラン・イングバドター



マスコットの名前は次回例会で発表予定です。

運営会議発足以降すでに10回の会議を持ち部会員からの意見を聞きながら準備をしています。メンバー全員がいずれかの部に属していますので、ご自分の所属部会を確認して、あと2か月頑張っていきたいと思えます。何卒よろしくお祈り申し上げます。

限られた予算の中で厳かな中にも楽しい周年記念大会となるよう運営会議では全力で取り組んでおりますので、引き続きみなさんのご協力をお願いします。

案内状を送る方のリストアップを完了して発送いたしました。最終的にはホテルからの要望の三百名を目指したいと思えます。

11月23日に開催します結成50周年記念大会は、総務部会(松本部会長)、式典・祝宴部会(数田部会長)、周年アクティビティ部会(飯伏部会長)、会計部会(小浦部会長)のもと、順調に準備を進めています。

結成50周年記念大会運営会議報告  
記念大会会長 谷垣 正彰

10月第一例会は100%の出席を期首からお祈りしています。10月4日の十月第一例会は結成50周年記念大会のプログラムに掲載するための集合写真を撮影します。クラブユニフォーム着用のうえ、メンバー全員の出席をお願いします。

10月第一例会は100%の出席を



神戸みなとLCのホームページは下記の場所です。  
<https://kobeminato-lc.jimdo.com/>

情報は一度クラブの本ホームページをご覧ください。ホームページ自体は外部向けの情報が中心となっていますが、メンバーにとっても過去の情報に触れる機会となるはず。一時期私がサボって更新が滞っていますが、その分はフェイスブックに掲載しています。

## 情報受信の重要性

其の式 団 英男

前回は発信ではなく受信の大切さについて書きました。見ると聞くとは大違いと言いますけど、人から聞く情報よりは自分で調べて見る情報のほうがより脳に残るものです。

まずは一度クラブの本ホームページをご覧ください。ホームページ自体は外部向けの情報が中心となっていますが、メンバーにとっても過去の情報に触れる機会となるはず。一時期私がサボって更新が滞っていますが、その分はフェイスブックに掲載しています。

## ゲストを招いて体験例会

会員委員会  
GMT・FWT担当役員  
小比賀由利子

今日はゲストに八塚昌幸様をお招きしての体験例会です。今期、会員委員会の目標は期末に会員数を40名という大きな目標を目指しています。どうぞ会員のみなさんもご友人やご学友、お近くのお友達、ご家族をお誘いください。みなさまのご協力よろしくお祈りします。



## 西日本豪雨災害支援第二弾報告

9月1日、支援第二弾として以下メンバーで倉敷市真備町に行ってきました。心配していた雨にもあわず、精一杯の活動をいたしました。

参加メンバー 順不同  
L団 L吉田 L谷垣  
L堀口 L山崎 L安田  
L数田 L畑山 (西宮ホワイト) L土田 (尼崎南)  
今回の支援に対するみなさんのご協力をお願いします。すでにL菱田、L山腰からは多額の支援金、また参加者からも支援金の拠出をしていただきました。